

がん患者の在宅医療の現状と課題

～在宅医療に関する薬学教育の推進に向けて～

開催日時 2013年7月7日(日)13:00～17:00

開催場所 慶應義塾大学芝共立キャンパス

参加費無料
定員200名

プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶 慶應義塾常任理事 増野 匡彦

司会 慶應義塾大学大学院 薬学研究科 教授 望月 眞弓

13:05～13:35 基調講演 座長:慶應義塾大学薬学部 社会薬学講座 教授 福島 紀子
がん患者の在宅医療の現況 -東京都区西部における調査から-
演者:慶應義塾大学医学部 麻酔学教室 専任講師 橋口 さおり

座長:国際医療福祉大学大学院 薬学・薬科学研究科 教授 旭 満里子

13:40～14:05 講演1 在宅医療における薬剤師の取り組みの現状
演者:(株)メディカルグリーン 代表取締役 社長 大澤 光司(栃木市)

14:10～14:35 講演2 薬剤師の立場からみたがん在宅患者の諸問題とその対策(薬薬連携含む)
演者:うえまつ調剤薬局 榎 基治(宮城県名取市)

《休憩14:35～14:50》

座長:慶應義塾大学看護医療学部 准教授 茶園 美香

14:50～15:15 講演3 がん患者の在宅治療における薬剤師への期待 ～医師の立場から～
演者:(医社)杏順会 越川病院 院長 越川 貴史(杉並区)

15:20～15:45 講演4 がん患者の在宅治療における薬剤師への期待 ～看護師の立場から～
演者:浅草医師会立訪問看護ステーション 倉持 雅代(台東区)

15:50～16:15 講演5 がん患者の在宅治療における薬剤師への期待 ～ケアマネージャーの立場から～
演者:中野区江古田地域包括支援センター 所長 富田 眞紀子(中野区)

《休憩16:15～16:25》

16:25～16:55 総合討論 医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャー、大学教員による総合討論

16:55～17:00 閉会の挨拶 慶應義塾大学大学院薬学研究科委員長

【申込み方法】

申込み締切:2013年7月4日(木)※延長しました 定員:200名

申込み先 :kyg-sympo@adst.keio.ac.jp

(1)がんプロシンポジウム (2)住所 (3)氏名(漢字及びフリガナ) (4)職業/所属 (5)E-mail・FAX番号を明記のうえ、メールにてお申し込み下さい。

【問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院薬学研究科 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30 TEL:03-5400-2498(学生課) E-mail:kyg-sympo@adst.keio.ac.jp